

航空機騒音測定の結果

令和8年度 航空機騒音測定結果

測定場所	項目	月												年間
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
東柏ヶ谷小学校	最高音(dB)	91.9	87.8											
	Lden(dB) ※1	50.0	50.1											
	WECPNL ※2	64.0	63.9											
	測定回数(回) ※3	465	432											
	1日平均の測定回数(回)	15.5	13.9											
柏ヶ谷小学校	最高音(dB)	88.9	99.3											
	Lden(dB) ※1	51.2	50.1											
	WECPNL ※2	65.4	65.5											
	測定回数(回) ※3	704	534											
	1日平均の測定回数(回)	23.5	17.2											
大谷小学校	最高音(dB)	86.0	85.2											
	Lden(dB) ※1	46.4	45.2											
	WECPNL ※2	59.7	58.4											
	測定回数(回) ※3	175	149											
	1日平均の測定回数(回)	5.8	4.8											

騒音の大きさの例

60dB	静かな乗用車、普通の会話
70dB	電話のベル、騒々しい街頭
80dB	地下鉄の車内、電車の中
90dB	大声による独唱、騒々しい工場の中
100dB	電車が通るときのガード下
110dB	自動車の警笛(前方2m)
120dB	飛行機のエンジン近く

※1 Lden(時間帯補正等価騒音レベル):航空機騒音の新環境基準

※2 WECPNL(加重等価継続感覚騒音基準):国際民間航空機構(ICAO)で提案された航空機騒音の「うるささ」を表す単位。「うるささ指数」ともいう。
(音響の強度(dB)、頻度、継続時間、発生時間帯などの諸要素により、多数の航空機から受ける騒音の総量を1日の平均として総合的に評価する基準。)

※3 測定回数:70dB以上・5秒以上継続等の騒音の回数